



Millennium Ecosystem Assessment

www.millenniumassessment.org | Strengthening Capacity to Manage Ecosystems Sustainably for Human Well-Being

ミレニアム生態系評価 概要 (国連大学高等研究所仮訳)

ミレニアム生態系評価 (MA) は、生態系の変化が人間生活に及ぼす影響や、これらの変化に応じてとるべき選択肢に関する科学的な情報についての、政策決定者や一般市民のニーズを満たすためにデザインされた、国際的な作業プログラムである。MA は 2001 年 6 月に国際連合事務総長コフィ・アナンにより正式に開始が発表され、2005 年 3 月に完了した。MA は特に生物多様性条約 (CBD)、砂漠化対処条約 (CSD)、湿地に関するラムサール条約、移動性野生動物種の保護に関する条約 (CMS: ボン条約) をはじめ、その他の民間企業や市民社会の利用者にとって必要な評価を提供する手助けをする。MA が関係者にとって役に立つことがわかれば、このような統合的な評価が 5~10 年ごとに繰り返され、生態系評価が国あるいは国内の地域規模で定期的に行われることが期待される。

MA は生態系機能 (生態系から人間が得る利益)、生態系機能内部の変化がどのように人間生活に影響を与えてきたか、生態系の変化が今後数十年の間にどのように人間に影響を与えるか、生態系管理を改善するため、すなわち人間のより良い生活に寄与し貧困を削減するため、ローカル・国・地球規模で適用されるべき選択肢、といったことに焦点を当てている。評価で取り組むべき特別の問題点は、MA ユーザーの意見を聴くことにより明確にされた。

MA は科学的文献やデータベース、科学モデルなどから得られる情報を統合し、また民間企業、実施者、地域社会、先住民が持っている知識を利用している。すべての MA の結果は厳しい査読を受けている。95 カ国からの 1300 人を超える著者が、地球規模評価を準備する 4 つの作業部会に参加しており、数百人が約 30 のサブグローバル評価を行っている。結果は 15 のレポートに含まれる (右表を参照)。

MA は行動を起こすべき優先順位を認識するための道具である。MA は計画・管理のための手法を提供し、生態系に影響を与えるような決定を行った際に生じる結果について将来を見通す。MA はまた、人類の発展および持続可能性目標を達成するための選択肢の明確化に資する。また、個人および関連する組織が総合的な生態系評価を行いその結果に基づいて行動するための能力の育成に役立ってきた。

ミレニアム生態系評価の成果

題名	出版日
1. 生態系と人類の福祉—評価の枠組み	2003 年 9 月
3. 我々の持てるものを越えた生活—自然の資産と人類の福祉 (MA 理事会声明)	2005 年 5 月 9 日
4. 総合報告書 (全般)	2005 年 5 月 9 日
5. 生物多様性総合報告書	2005 年 5 月 9 日
6. 砂漠化総合報告書	2005 年 6 月 17 日
7. 商業・工業総合報告書	2005 年 6 月 17 日
8. 湿地帯総合報告書	2005 年 6 月 17 日
9. 健康総合報告書	2005 年 6 月 17 日
10. 我々人類の地球 (要約版)	2005 年 9 月
11. 現状と傾向	2005 年 9 月
12. シナリオ	2005 年 9 月
13. 政策対応	2005 年 9 月
14. マルチスケール評価	2005 年 9 月
15. 様々な規模と認識の橋渡し—マルチスケール評価でローカルな知識と地球規模の科学とを結ぶ	2006 年 3 年

Offices: IEG India | SCOPE France | UNEP Kenya | UNEP-WCMC UK | WRI & Meridian Institute USA | RIVM Netherlands | WorldFish Center Malaysia

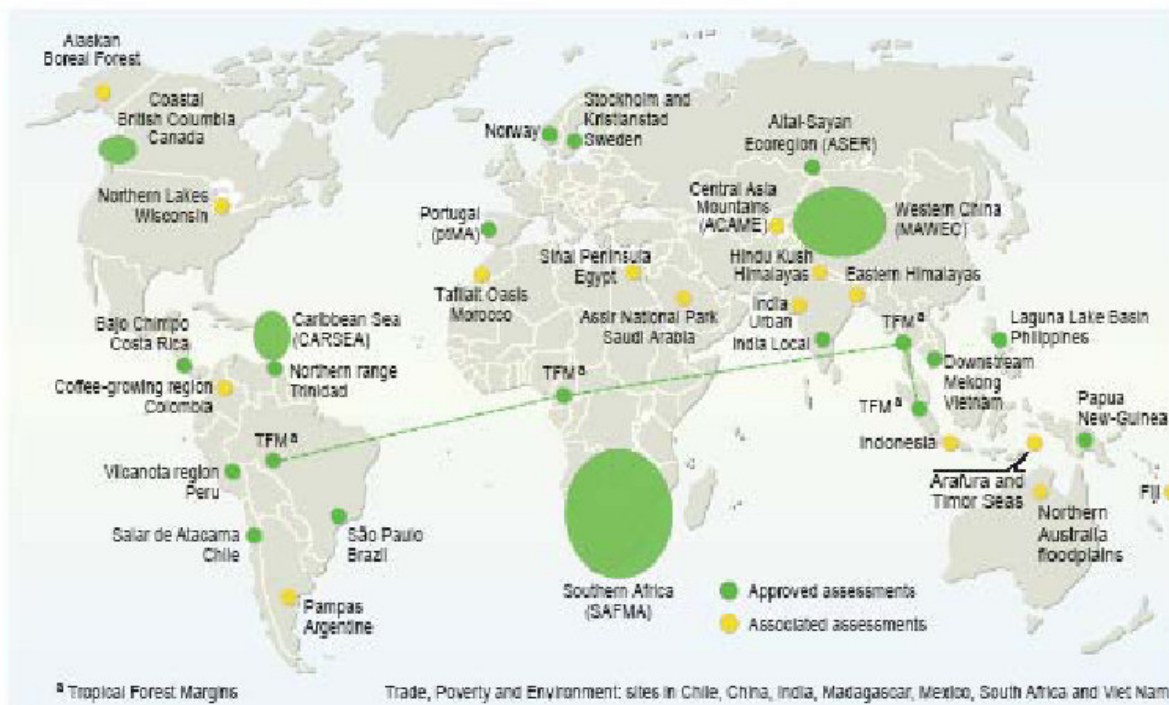


評価プロセス

MA は国際条約、国連機関、科学組織、民間部門、市民社会、先住民組織のリーダーから構成される理事会によって管理されている。世界の主導的な社会及び自然学者からなる評価パネル（13人のメンバーからなる）とレビュー委員会は、ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、アフリカに事務所をもつ事務局による支援を受け、また、国連環境計画(UNEP) による調整を受けながら、評価の技術的作業を監督している。

MA はローカル、水系、国、地域及び地球規模で行われている評価を連結したものである「マルチスケール」評価として行われた。サブグローバル評価は、政策決定者のニーズを満たすように、また、地球規模での見解が現場での現実により強化され、他方、ローカルレベルでの見解が地球規模の観点、データ、モデルにより強化されるようにデザインされている。17の MA で承認されたサブグローバル評価と、これに準じる 13 の評価が行われた。

Sub-Global Assessments



予算および出資者

4年におよぶ MA の予算はおよそ 1700 万ドルであり、これに加えて 7 百万ドル以上の現物による貢献 (in kinds contribution) があつた。MA への主な出資者は地球環境ファシリティー (GEF)、国連基金、デイビッド&ルシール・パッカード財団、世界銀行、国連環境計画、ノルウェー政府、サウジアラビア王国である。資金供与者の完全な表は MA ウェブサイトに掲載されている。

www.MAweb.org